

黒部市歴史民俗資料館 第13回特別展「黒部川の洪水・治水のあゆみ」紹介 No.2

当資料館では、屋外にも展示物があります。正面の右側の芝生に縦工ブロックと流失した愛本橋の端柱があります。

縦工ブロック（コンクリート製）

縦工は黒部川の堤防を洪水のときに水の勢いから堤防を守るために考案された工法です。激しい水の流れるために堤防が削られないようにするため堤防と一体となり補強しています。（国土交通省黒部川河川事務所蔵）



流失した愛本橋の一部

大正9年4月に近代的な鉄骨トラス橋となった愛本橋は、昭和44年8月11日の大洪水により鉄骨の橋は流失しました。平成10年6月に橋の下流150mの河床から発見され、橋台から立ち上がった端の柱である事がわかりました。急流河川黒部川の洪水を今に伝える貴重な資料です。

